



THE RECORD

2004.03
No. 532

Essay ~レコードと私~

井上 堯之 (ミュージシャン)

Special Feature

アジアに響く、日本の音楽

● World News Clip

RIAA、532名のファイル共有ユーザーを提訴

RIAJ
Recording Industry Association of Japan

社団法人 日本レコード協会

井上 堯之 (ミュージシャン)



井上 堯之(いのうえ たかゆき)

1941年兵庫県出身。16歳でギターを始め、1962年“ザ・スパイダース”にリードギターとボーカルとして参加。70年の解散後、PYG(ピッグ)を経て、井上堯之バンドを結成。沢田研二のバックিংを中心に、テレビや映画、舞台、ミュージカルの音楽を数多く担当。その後フリーとなり萩原健一、柳ジョージ、宇崎竜童らとのセッション活動と並行し、作曲・編曲家としても活躍中。代表曲に「太陽にほえろ!」「傷だらけの天使」、日本レコード大賞受賞曲「愚か者」など多数。音楽活動も今年で45周年を迎え、23年ぶりに井上堯之バンドを復活。

レコードに関する嬉しいことが3つありました。まず一つは僕の音楽活動45周年を記念して2月26日27日に東京新宿厚生年金会館で仲間たちがコンサートを開いてくれたことです。新聞には「23年ぶり! 井上堯之バンド復活」と書かれました。実際にはイベントや映画のサウンドトラックなどで、井上堯之バンド名義で度々は演奏していたのですが、「太陽にほえろ!」や「前略おふくろ様」、そして「傷だらけの天使」をあの大きなステージで演奏してくれというのは確かに初めてなので驚きました。

まさか30年も前のドラマの音楽をあれほど多くの人待ち望んでくれたとは思っていませんでした。実を言うと僕は「太陽にほえろ!」のレコードを出すつもりが全くありませんでした。仕方なく番組のプロデューサーがプレゼントと称してテーマの入ったレコードを10枚だけ作って募集したらなんと約40万通ものハガキが来てしまったのです。「それほど望まれているならば」と井上堯之バンド演奏のサウンドトラックとしてレコードをリリースしたのを懐かしく思い出しました。

二つ目に嬉しかったことはB'zの松本孝弘さんがTak Matsumoto SOLO PROJECTとして「THE HIT PARADE」というアルバムの中で、僕の「一人~I Stand Alone~」という楽曲をとりあげてくれたことです。他のレパートリーは「勝手にしやがれ」とか「イミテーションゴールド」とか「少女A」とか派手なヒット曲が多いのに良くあんな地味な曲を知っていたなあと思います。あとで聞いた話ですが、松本さんはこう語っていたそうです。「このアルバムは邦楽とのファースト・コンタクト時のフィーリングを詰め込んだ僕の“音楽少年”の原風景である」そして「ギタリスト

として井上堯之氏をリスペクトしていた」と。今をときめくミュージシャンから慕われるというのは本当に嬉しいことです。先日の井上堯之バンドのコンサートにもシング・ライク・トーキングの佐藤竹善さんがゲストヴォーカリストとして駆けつけてくれました。彼との関係は、一昨年の「METABOLISM」というアルバムの「回想の詩」という曲でギターを弾いてくれないか?というので喜んで!とスタジオに駆けつけたら「ダメもとでお願いしたら本当に来てくれた!」と、もの凄く喜んでくれたのがきっかけです。

レコードに関する3つ目の嬉しいことは僕の友人であり尊敬する画家で映像作家の新月紫紺大という男がTHE INOUE TAKAYUKIというシリーズで、僕が今表現しなかった音楽のありかたを3枚のCD(「SMOOPY」「REMEMBER」「SUPER WATER」)という形にしてくれたことです。

「SMOOPY」は今まで自分が勉強してきたクラシックやポップスなどが井上堯之というギタリストの中で昇華し創造した楽曲を集めたアルバム。「REMEMBER」は心の中に思い浮かぶ心象風景や映画音楽などからインスパイアされてできあがった楽曲集、そして「SUPER WATER」は、まさに僕自身のメッセージそのもの。もちろんこれは僕たちの新しい挑戦であるので、まだメジャーレーベルからのリリースではありません。しかし、できあがったアルバムを手にした時「よくぞCDという形にしてくれたものだ」と涙を流したほどでした。また毎月ハケ岳でやっているミニライブのCDもシリアルナンバー入り限定300枚で発売になりました。CDを一枚リリースするということがいかに大変なことか音楽活動45周年にして改めて心に染みしました。

企画・構成：木崎 徹

表紙の楽器

サウン・ガウ

ビルマ語で「サウン」とは豎琴の意。「ビルマの豎琴」として日本で知られているサウンは、ビルマ文化において象徴的存在のひとつと言えるが、これは一般的な伝統に根ざすものではない。そもそもミャンマーは敬虔な仏教国であり、僧侶が楽器に触れることは禁じられている。実際は高貴な楽器として宮廷音楽で使われ、伝統音楽の中で一般的に演奏されるものではなかったため、ビルマでも豎琴を演奏できる人は少ないといわれる。

Contents

Special Feature	
アジアに響く、日本の音楽	2
Topics & Information	8
World News Clip	11
Monthly Production Report	12
今月の数字	13
Gold Album+...認定	14

アジアに響く日本の音楽



韓国・中国をはじめとするアジア諸国では、日本の音楽が一般の人々に親しまれるようになり、音楽を通じた文化交流も活発化することが期待されます。韓国では、2004年1月1日から実施された第4次日本大衆文化開放措置により、日本語レコードの販売が解禁されました。また中国では、日本音楽著作権協会との間で録音権相互管理契約が締結されるなど、音楽文化の交流促進へ向けた環境整備も進んでいます。

韓国における日本語レコード販売解禁から2カ月経過した今、韓国・中国等アジア地域への日本の音楽進出の現状を、さまざまな視点から追ってみました。

● Statistical Data on Asian Music Market 2002 (2002年のアジア主要各国レコード売上)

国名	数量						金額 (百万ドル)	人口 (百万人)	一人当たりGDP 国内総生産 (米ドル)
	シングル (百万枚)	LP (百万枚)	テープ (百万巻)	CD (百万枚)	DVD (百万枚)	VHS (百万巻)			
日本	77.1	2.2	4.6	228.9	11.0	2.1	5,000.9	127.0	31,440
韓国	0.05	-	7.1	21.4	0.4	-	221.6	48.3	9,550
インド	-	-	162.5	8.6	-	-	172.3	1,045.9	480
台湾	0.6	-	0.2	16.6	1.3	1.0	161.7	22.5	12,490
中国	-	-	33.1	24.8	10.4	-	134.8	1,284.3	960

備考：IFPI (国際レコード産業連盟) 資料による

Focus

韓国における日本語CD解禁後の最新事情

第4次日本大衆文化開放措置により、韓国では本年1月から日本語CDの販売が解禁されました。韓国における日本語CDに関する販売申請・許可、リリース、放送、著作権の各実務事情を、音楽評論家の反畑誠一さんにご寄稿頂きました。日本語CD販売解禁後の韓国における音楽実務の実情を初めてレポートしたものです。

■ 日本語CD販売申請・許可事情 ■■■■

韓国の日本大衆文化第4次開放措置によって日本語歌詞のレコードが全面解禁され、現地生産の第1号CDが店頭発売されたのは1月7日であった。日本語CDは"洋楽"に相当し、韓国内で発売するには行政省庁である文化観光部(日本の文化庁・経済産業省の一部に当たる)所轄の映像物等級委員会委員長宛てに「外国音盤推薦申請書」を提出し、製品に必要な許可番号を取得し、印刷しなければならない。

申請書には、代表申請人名、住所、社名、CD等の発売形態、原作者および国籍、原題名、数量を記入する。ただし数量については10万枚を越えると再申請が必要になる。添付資料として、アーティスト名、

制作会社名、発売予定日、ジャンルを記入した上、収録楽曲の日本語のオリジナル歌詞に、正確に翻訳された韓国語対訳が求められる。性・ドラッグ・犯罪・暴力に関わる表現がチェックの軸になる。さらにライセンス契約におけるライセンサー名と、その契約で定められた条件(指定された販売地域等)を明記しなければならない。

手数料は、CD1タイトルにつき15,000ウォン(約1,500円)。2枚組の場合は30,000ウォン。DVDは10分につき10,000ウォンを現金で支払う。日本のような印紙は存在しない。申請受付日および受理日は毎週、火曜、金曜の2日。平均1週間で委員長名が明記された許可証が捺印の上戻される。

■ 日本語CDリリース事情 ■■■■

年末から年始にかけてソウル市内でカウントダウンコンサートを開いたTUBEのCD「Melodies & Memories」が現地法人 Sony Korea から7日に発売されたが、許可申請の受付は1月2日から開始のため、許可番号はシール表示だった。その迅速な対応は、韓国内で欧米CDを販売してきたノウハウが生かされていると思う。

日本資本系では、ポニーキャニオンが1月中旬に(株)PONY CANYON KOREAから男性アイドルグループw-inds.のCDを発売し、発売日に大型小売店で100人以上のファンが配送を待つという光景が見られたという。ビーインググループも2002年1月ソウルに、ディストリビューションもかねて(株)ビーイング코리아(呉元錫社長)を設立し"解禁"に備えていた。したがってB'zの3タイトルを筆頭にZARD、倉木麻衣、WANDS、DEEN、大黒摩季らのCDが一斉に発売されている。各社とも現地法人ないし業務提携企業を稼働させて、韓国市場に進出した。

総体的な売れ行きは、発売後1カ月で、2万枚台に達した商品もあり、一部日本の新聞報道では音楽CDの売り上げは好調、と伝えている。全面解禁による経済的効果は韓国文化観光政策研究院報告によると、レコードの市場拡大効果は3~5%、日本商品の占有率は7~8%と予測していた。

しかし、総合的に見ると、今回の解禁に伴ってリリースされた日本語の音楽CDは、一部の日本のレコード会社によって既に日本で発売されているものがほとんどで、その種類も限定されている(2004年1月に発売されたタイトルは、次ページの一覧の通り)。今後、豊富なタイトルの日本語の音楽CDが本格的に韓国でリリースされるためには、ライセンスレコードの還流防止措置の法制化が待たれる。

なお、韓国における音楽CDの流通構造に関しては、「コリアンエンタテインメントジャーナル」創刊号(連絡先: Tel. 03-3918-4749)で現状を詳細に分析しているので参考にされたい。



1月7日、初めて公式販売された日本語CD。韓国・ソウル市内のCD店では日本音楽コーナーが設けられ、韓国人の関心を集めている(写真提供・共同通信社)

■ 放送、音楽著作権事情 ■■■■

今後の市場拡大にもう一つ重要な課題として、韓国ならではの放送事情がある。宣伝プロモーションには不可欠な韓国放送公社、KBSはじめ地上波3大テレビネットワークへの出演が効果的である。日本のSKY PerfecTV!の「KNテレビジョン」で中継されている音楽番組は12本ある。格好の研究対象になるであろう。

急務とされる音楽著作権に関する韓国音楽著作権協会 (KOMCA) との相互管理契約締結への進捗状況について、小原正幸JASRAC国際部長が、「韓国はベルヌ条約、万国著作権条約、WTO (世界貿易機関) など、国際条約を締結しているのですから…」と語っているように、近い将来、相互管理の締結が期待される。



反畑 誠一 (たんばた せいいち)
音楽評論家。昭和大講師。(社)全国コンサート事業者協会理事。J-POPを中心に評論活動を続ける傍ら東南アジアの音楽市場研究を継続している。

韓国・日本語CDリリース状況 (2004年1月)

タイトル	アーティスト名	発売日	メーカー略称
Melodies & Memories	TUBE	2004.01.07	AI
LIFE is...	平井 堅	2004.01.08	DF
w-inds. ~PRIME OF LIFE~	w-inds.	2004.01.12	PC
THE BEST	CHAGE & ASKA	2004.01.13	UM
ZARD BEST~Request Memorial~	ZARD	2004.01.15	BG
SURVIVE	B'z	2004.01.15	BM
Utopia	DEEN	2004.01.16	BMG
MISIA SINGLE COLLECTION~5th ANNIVERSARY	MISIA	2004.01.16	BMG
Grace	TOSHI	2004.01.16	BMG
kiss~dramatic love story~	V.A.	2004.01.16	BMG
Between the Lines	CHEMISTRY	2004.01.16	DF
DREAMANIA -smooth groove collection-	DREAMS COME TRUE	2004.01.16	TO
First Love	宇多田ヒカル	2004.01.16	TO
Distance	宇多田ヒカル	2004.01.16	TO
DEEP RIVER	宇多田ヒカル	2004.01.16	TO
LOVE	中島美嘉	2004.01.19	AI
DREAMAGE	DREAMS COME TRUE	2004.01.19	ES
666	HYDE	2004.01.19	KS
安全地帯X	安全地帯	2004.01.19	SR
Best of X	X	2004.01.26	KS
BEST ALBUM 2001-2003	KICK THE KAN CREW	1月中旬	WJ
CHAMBERS	Steady&Co.	1月中旬	WJ
GOOD MUSIC	KICK THE KAN CREW	1月中旬	WJ

備考：日本レコード協会調べ。2004年2月末時点。

日韓の交流の掛け橋に...

TUBE

これまで、2002年のワールドカップ共同開催など、スポーツや音楽での交流を通して、新たな友情と信頼を、日本と韓国との間で積み重ねて来ました。

今日この時から、両国が新しい時代を迎えるにあたって、自分たちがこの場所で歌えるということは、とても楽しみにしていたことであると同時に、大変名誉なことだとも強く感じています。

こういう機会を与えてくれた韓国に感謝しています。



日中間の音楽交流促進の基盤を整備 - JASRAC、中国音楽著作権協会との録音権相互管理契約を締結



(社)日本音楽著作権協会
国際部 部長
小原 正幸氏



(社)日本音楽著作権協会
外国資料部・国際部中国関係担当主幹
石松 一樹氏

(社)日本音楽著作権協会 (JASRAC) は、昨年12月に中国音楽著作権協会 (MCSC) との間で、録音権相互管理契約を締結しました。この契約は、日中間の音楽文化交流の促進・音楽ビジネスの発展へのきっかけとなるものです。契約に至った背景、今後の市場への影響などについて、JASRACの小原さん、石松さんに解説していただきました。

● 国際的な音楽著作権管理ネットワークの一環として

JASRACは、世界各国・地域の管理団体との間で、演奏権や録音権について、お互いに著作権使用料の徴収・分配を行う相互管理契約を結び、音楽著作権を国際的に管理するネットワークを形成してきました。今回の契約もこのネットワークの一環によるものです。

中国では92年12月に、中国音楽著作権協会 (MCSC) が発足、翌年3月から業務を開始しました。JASRACは、MCSCとの間で96年7月に演奏権の相互管理契約を締結し、実効性のある音楽著作権保護に踏み出しましたが、録音権分野については、海賊版や現地生産CD等の日本への還流に対する対応について、これまで両団体間で協議を重ねておりました。

01年12月、中国はWTOに加盟し、中国における音楽著作権保護の動きが加速しました。加盟に向けて01年10月に施行された改正著作権法は、インターネット上での権利保護も含め、現状に即した内容となる一方、MCSCにおいても録音権を管理する体制が進行了。また、最近では日本から中国への音楽の流通だけでなく、中国のアーティストが日本で人気を集める事例も現れています。こうした状況を背景として、この度MCSCとの録音権相互管理契約の締結に至りました。

● 日本音楽の国際化を促進する環境形成へ向けて

これまでの演奏権相互管理契約に、今回の録音権分野の契約がプラスされたことは、中国においては、法制度の面に加えて実行面においても、わが国の作品の保護管理に関するインフラ整備が為されたことを意味します。インフラ整備が為されていないことが、これまでのわが国の音楽産業界にとって、対中ビジネス推進のブレーキの一要因となっておりましたが、この度の契約によって、

安心して対中ビジネスを展開する環境が生み出されたと言えます。すでにMCSCではネット上での不正な音楽利用に対して訴訟を起こすなど、活発な活動を展開していますが、今回、日中間の管理体制における連携が強化されたことで、海賊版の状況も変化し、正規の音楽ビジネスの成長につながるものとJASRACでは期待しております。そしてJASRACは、世界的な文化所産である音楽著作物を日中両国間で適正に保護管理して行くために、従来からのMCSCとの連携関係をさらに強固なものとし、人的・技術的交流をより積極的に行いながら、著作権管理団体に求められる責務を果たして行きたいと考えています。

中国音楽著作権協会 (MCSC) 概要 (2002年度末現在)

● 設立：	1992年12月17日 (国家版權局と中国音楽家協会とが共同で設立した 中国大陸唯一の音楽著作権管理団体)
● 組織：	協会本部—北京(職員35名) 地方事務所—全国18ヵ所(職員70名)
● 会員構成：	会員総数2,588名 (作曲家1,572名・作詞家997名・出版社19社)
● 使用料徴収額：	1) 演奏権 RMB 9,223,092元(対前年度比164%増) 2) 録音権 RMB 6,746,758元(対前年度比29%増) 3) 外国入金 RMB 2,163,943元(対前年度比124%増) 総徴収額 RMB 18,133,794元(対前年度比87%増) *このうちインターネット使用料に関しては、 RMB 5,111,612元で全徴収額の28%に相当。

日本とアジアの音楽交流の拠点に～PROMICの事業活動

(財)音楽産業・文化振興財団(PROMIC)は、93年3月に当時の通商産業省と文部省の認可を受けて設立されました。日本の音楽をアジアへ、そして、アジアの音楽を世界に発信するための環境整備にあたり、特に日本とアジア諸国・地域との音楽交流を積極的に推進する事業に取り組んでいます。ここでは、PROMICが事業活動の一環として、中国、韓国の各所で運営する日本音楽情報センター・コーナーを紹介します。

*これらの施設では、音楽を通じて文化交流を促進し、次世代を担う若者たちが日本に対する理解を深められるよう、日本音楽に関する最新情報(CD・DVDの視聴やアーティスト情報等)を提供しています。

● 北京

設立: 99年5月
TEL: +86-10-6441-9666
HP: <http://www.jamic.cn>
会員数(男/女比率): 約8,000名(41/59)
スペース: 135㎡
現状レポート: DVDライブビデオの人気がすごく、会員は人気アーティストのファッションに興味を持っているようだ。併設している「日本語教室」(定員20名)も盛況で、半年先まで予約が一杯である。定期的なイベント「日本fans大集合」(日中インディーズバンド競演とアトラクション)は、いつも会員の熱気に包まれている。



日本音楽情報センター(北京)

● 上海(上海総領事館内)

設立: 02年6月
TEL: +86-21-6219-5953
HP: <http://www.shanghai.cn.emb-japan.go.jp/>
会員数(男/女比率): 約2,700名(25/75)
スペース: 60㎡
現状レポート: 日本の書籍、インターネット、海外留学相談、音楽等のコーナーが同じフロアにあるためか、大学生会員の利用が多い。日本から直接送付される音楽情報誌も好評。Gackt、Dir en grey、L'Arc~en~Cielなど、ロック系アーティストの人気の非常に高い。

● ソウル(公報文化院内)

設立: 00年5月
TEL: +82-2-765-3011
HP: <http://www.kr.emb-japan.go.jp/>
会員数(男/女比率): 約2,200名(44/56)
スペース: 60㎡
現状レポート: 日本語音楽ソフト解禁後も来館する会員数は落ちていない。館内多目的ホール(定員150名)で開催するイベント「のど自慢大会」「DVDコンサート」「ミニライブ」「講演」は、常に満員の盛況。お年寄りのセンターが隣接しているため、60代以上の方々の来館もあり、懐メロソフトも常備在庫している。



日本音楽情報センター(ソウル)

● 済州島(総領事館内)

設立: 00年10月
TEL: +82-64-742-9501
HP: <http://www.jeju.kr.emb-japan.go.jp/>
会員数(男/女比率): 約900名(20/80)
スペース: 33㎡
現状レポート: 女性上位の会員男女比は、活発な女性が多い済州島ならではの。Gackt、X-Japan、L'Arc~en~Ciel、SMAPなど男性アーティストの人気の圧倒的。

日本音楽の積極的な国際展開のために -「日本販売禁止レコード」の還流防止措置導入の必要性

台湾、香港、韓国、中国などアジアの国々で日本音楽の需要が高まる一方、日本のレコード会社はこの需要に応じたライセンスの供与には慎重にならざるを得ない状況にあります。その理由は、レコードの価格が各国の経済水準によって決定されるため、アジア諸国で販売される日本の1/2~1/5の価格のレコードが日本に還流した場合、日本の音楽産業に壊滅的な被害を与えることが予想されるためです。現在、日本のレコード会は、現地のレコード会社とのライセンス契約によって、①ライセンシーの販売地域を限定し、商品上に「日本販売禁止」等の表示を付し、②現地の需要を超えた生産がなされないよう数量を限定するとともに、③日本発売日より2週間から1カ月程度遅く現地発売日を設定する、等の還流防止対策を講じていますが、契約によっては二次・三次卸や小売段階からの流出を防止することはできません。現在の還流量は68万枚(2002年)に過ぎませんが、現地の需要に応じて積極的にライセンスを拡大した場合は、2007年には244万枚、2012年には1,265万枚が還流すると推定され、その影響は同数の国内レコードの販売が失われるに留まらず、その何倍かの国内市場を侵食し日本の音楽産業に壊滅的な被害を与えると予想しています(還流数量は(株)文化科学研究所予測)。

当協会を含む音楽関係8団体は、物価水準の異なる国々に日本音楽の積極的な国際展開を図り、日本の音楽レコードの国際競争力を確保するためには、アメリカおよびEU諸国等世界65カ国で導入されているレコードの自国内への還流を防止する措置の導入が必要と考え、本年1月に「日本販売禁止レコード」の還流防止措置の導入を求める緊急提言を発表いたしました。当協会は、一日も早く法制化されることを目指し、引き続き音楽関係団体と連携し、広く国民の皆様のご理解を得るための活動を続けております。

「日本販売禁止レコード」の還流防止措置の導入を求める緊急提言

私たち音楽関係8団体は、国外指定地域での販売に限定してライセンスされた音楽レコードが、日本国内に還流することを防止する法制度の導入を強く求める緊急提言を発表いたします。

- 一、還流防止措置の導入は、物価水準の異なる国々に日本音楽の積極的な国際展開を可能とし、「知的財産立国」を目指す政府の方針に合致します。
- 一、還流防止措置の導入は、日本音楽の市場を拡大し、音楽産業を含むコンテンツ産業全体に活気を与え、日本経済に好影響をもたらします。
- 一、還流防止措置の導入は、日本の音楽文化の普及を促進し、日本および日本国民に対する諸外国の理解を深めます。
- 一、還流防止措置の導入は、日本音楽の創造サイクルの維持、拡大をもたらし、国民の求める多様な音楽作品を提供し続けていくことを可能とします。
- 一、還流防止措置の導入は、諸外国における正規版の流通を拡大し、海賊版の撲滅と著作権意識の向上により音楽産業の振興に繋がります。

以上

平成16年1月5日

社団法人日本音楽著作権協会
 団法人日本芸能実演家団体協議会
 社団法人日本レコード協会
 社団法人日本音楽事業者協会
 社団法人音楽出版社協会
 社団法人音楽制作者連盟
 日本レコード商業組合
 全国レコード卸同業会

日本音楽の国際化は日本の音楽関連産業すべてにとって、非常に大きなテーマです。当協会では今後も、アジア市場における日本音楽の状況を注視し、さまざまなかたちで取りあげていきたいと考えています。

Topics & Information

「日本販売禁止レコード」の還流防止措置に関する 記者会見を開催

2月3日、当協会を含めた音楽関係8団体は、東京千代田区のキャピトル東急ホテルで記者会見を行いました。

当協会の依田巽会長、(社)日本音楽著作権協会吉田茂理事長、(社)音楽出版社協会渡邊美佐会長、日本レコード商業組合矢島靖夫理事長が、「日本販売禁止レコード」の還流防止措置の必要性をマスコミに向けて説明し、理解を求めました。



記者会見の様子

「DVDオーディオ追加表示事項」の改正・発行

当協会情報・技術委員会(三田委員長)は、「DVDオーディオ追加表示事項」を2003年12月12日付で改正・発行いたしました。

この「DVDオーディオ追加表示事項」は、2001年4月にDVDオーディオ商品の多様性に関する表示と「複製制限」の表示をまとめ、「DVDオーディオの表示に関する運用基準」(1999年12月制定)の追補版として発行したものです。

今回の改正は、DVDオーディオのコンテンツ保護技術(CPPM*)へのコピー禁止設定(N=0)の導入に対応するためです。コピー禁止設定は若干の変更を伴い、“コピー制限”となり、リニアPCMのコピーは禁止されますが、セキュアメディアへの圧縮オーディオコピーは、標準設定でセキュアレコーダ1台当たり3個まで許可されます。

また、新CPPMでは大別して“コピー制限(いわゆるN=0)”と“コピー回数制限(いわゆるN=1)”設定の2種類のDVDオーディオ商品が存在することになり、消費者にDVDオーディオのコピー動作について混乱が生じることが懸念されました。

このため、情報・技術委員会では「DVDオーディオN=0表示検討ワーキングチーム」を特設し、消費者の混乱を防止するために、DVDオーディオの「複製制限表示」について検討しました。

なお、すでに数社のレコード会社では昨年12月中に“コピー制限(いわゆるN=0)”設定のDVDオーディオの発売が予定されていたため、早急に「複製制限表示」をまとめる必要があり、時間的な制約から今回は「DVDオーディオ追加表示事項」の「4)複製制限表示」を改正し、発行したものです。

DVDオーディオ商品への表示例は、次のとおりです。

1. コピー制限(いわゆるN=0)

(1)「裏カード」等の外から見える場所

【表示例】 **複製制限**

収録楽曲のCD-R、MDなどへのデジタルコピーはできません。

(2)「折り込みカード」等商品内の「詳細表示」

【表示例1】

収録楽曲のCD-R、MDなどへのデジタルコピーはできません。

収録楽曲の著作権保護対応メディア(SDメモ리카ード等)へのコピーは、レコーダー毎に3個の圧縮オーディオに制限されています。

【表示例2】

収録楽曲のCD-R、MDなどへのデジタルコピーはできません。

収録楽曲のSDメモリーカードなどの指定された著作権保護技術(CPRM等)に対応したデジタルメディアへのコピーは、レコーダー毎に3個の圧縮オーディオに制限されています。

2. コピー回数制限(いわゆるN=1)

(1)「裏カード」等の外から見える場所

【表示例】 **複製制限**

(2)「折り込みカード」等商品内の「詳細表示」

【表示例1】

収録楽曲の著作権保護対応メディア(SDメモ리카ード等)へのコピーは、レコーダー毎にCD品質以下1個に制限されています。

【表示例2】

収録楽曲のCD-R、MDなどへのデジタルコピーは、1世代コピーに制限されています。

収録楽曲のSDメモリーカードなどの指定された著作権保護技術(CPRM等)に対応したメディアへのコピーは、レコーダー毎にCD品質以下1個に制限されています。

なお、指定の著作権保護に対応したメディアへのコピーには指定の著作権保護技術に対応したレコーダーが必要となります。詳細はレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

* CPPM(Content Protection for Pre-Recorded Media) :
4C Entity (IBM、インテル、松下電器産業、東芝)のコンテンツ保護技術

ASEAN+3 著作権セミナー開催

2月25日から27日までの3日間、東京新宿区の京王プラザホテルで、文化庁と社団法人著作権情報センター(CRIC)共催による「ASEAN+3著作権セミナー」が開催されました。

このセミナーは、ASEAN諸国および日本、中国、韓国の著作権関係者に対して、著作権・著作隣接権に関する情報交換と意見交換の機会を提供することを目的とするものです。今年度は海賊版対策を主要テーマに開催されました。

セミナーの概要は、以下の通りです。

■ 2月25日

- 基調講演「日本の知的財産戦略と海賊版対策」
早稲田大学名誉教授 土井輝生氏
- 「日本における著作権のエンフォースメントと取り締まり状況」
弁護士 山本隆司氏
- 「著作権教育について」
文化庁著作権課専門官 大和淳氏
- 「放送番組の侵害事例と対策」
朝日放送(株) 著作権部部长 上原伸一氏
- 「コンピュータソフトウェアの侵害対策」
(社)コンピュータソフトウェア著作権協会
専務理事・事務局長 久保田裕氏
- 「レコード侵害状況と対策」
IFPI(国際レコード産業連盟) Ms. Leong May-Seey

■ 2月26日

- 「MPA(米国映画協会)の活動」
MPA Mr. Ho Wai Hung, Sam
- 「海賊版に対するEUの対応」
EU Mr. Pedro Velasco Martins
- 「カントリーレポート(1)」
- 「カントリーレポート(2)」
- 「カントリーレポート(3)」

■ 2月27日

- 「カントリーレポート(4)」
- 自由討論「海賊版対策に関する国際協調について」



セミナーの様子

新会員社加盟のお知らせ

2004年2月1日付けで、当協会会員として、下記4社が入会しました。

(正会員)

株式会社ヤマハミュージックコミュニケーションズ

代表取締役社長：烏野隆弘

住所：〒150-8666

東京都目黒区下目黒3-24-22

TEL：03-5773-0882

(準会員)

有限会社エル・ディー・アンド・ケイ

取締役：大谷秀政

住所：〒150-0042

東京都渋谷区宇田川町36-19

名畑ビル3F

TEL：03-5489-7098

(賛助会員)

株式会社エイベックス・ディストリビューション

代表取締役社長：笠原壮夫

住所：〒107-0062

東京都港区南青山3-1-30

エイベックスビル

株式会社ファーストディストリビューション

代表取締役：鈴木一夫

住所：〒107-0062

東京都港区南青山3-1-1

プラザ246青山ビル3F

TEL：03-3746-1791

入会した株式会社ヤマハミュージックコミュニケーションズおよび有限会社エル・ディー・アンド・ケイのあいさつをご紹介します。

弊社ヤマハミュージックコミュニケーションズは、ヤマハグループのソフトコアカンパニー（レコード会社）として、2000年5月に設立されました。

当初は中島みゆきをはじめとしたシンガーソングライター系のアーティストの作品を中心にスタートしましたが、それらの中でも、「地上の星／ヘッドライト・テールライト」は、4年以上のロングセールスを果たすなど、少なからず音楽業界に貢献できたのではないかと思います。

現在は、4つのレーベルに洋楽を加えた5つのカテゴリーに集約されます。それらを簡単に紹介すると、シンガーソングライター系のLabel YAMAHA。ヒーリング、インストのstirring echo（スターリングエコー）。ポップロック色を打ち出したDANGUY（ダンガイ）からは、Sound Scheduleがブレイクポイント間近です。また、メタル系を中心にした洋楽の他、capsuleを軸とした新感覚フューチャーポップレーベルcontemode（コンテモード、contemporary+modeの造語）の5つです。今後も引き続き、それぞれのコンセプトに基づいた展開を行ってまいります。同時に新レーベルの発足も含め、数多くのアーティストとパートナーシップがはかれるレコード会社として位置付けていきたいと考えています。

多様化する社会環境に柔軟に対応しながらも、「プレミアム」とは何かを問い続け、良質の音楽をお届けし続けていきたいと思っています。

株式会社ヤマハミュージックコミュニケーションズ
代表取締役 烏野隆弘

（有）エル・ディー・アンド・ケイは1995年の設立以来、独自の世界観に基づいたアーティストを取り扱っています。

現在のおもな業務として、アーティストマネジメント管理業務（ガガガSP、Keito Blow、NORTHERN BRIGHTなど）から、自主レーベル運営「living, dining&kitchen records」（カルカヤマコト、土岐麻子、みうらじゅん）、パンク、ロックなどを取り扱うレーベル「RUN RUN RUN Records」（マニ☆ラバ、CooDoo's、セックスマシーン）、そしてHIP HOPレーベル「RUFF & RUGGED Records」や、生活の中に心地よい音楽空間を提供するレーベル「Living Records Tokyo」など、多彩なレーベルから様々なジャンルの個性豊かなアーティストを多数取り揃えています。

音楽業務以外でも、ライブハウス「チェルシーホテル」やカフェ「宇田川カフェ」、バー「宇田川ラヴァーズロック」、スイーツ&カフェ「宇田川スイーツ」（すべて渋谷）等の運営や、アナログ・レコードプレス請負業務「LD&K Records manufacturing」など、多岐に渡る業務を行っています。

有限会社エル・ディー・アンド・ケイ
取締役 大谷秀政

● 2004年2月会議メモ

- 2・4 マーケティング委員会
- 2・5 レンタルレコード委員会
- 2・10 法制委員会
- 2・10 レコード倫理審査会
- 2・12 広報委員会
- 2・13 情報・技術委員会
- 2・20 執行委員会
- 2・27 理事会

RIAA、532名のファイル共有ユーザーを提訴

2004年1月21日、米国レコード協会(RIAA)は、P2Pネットワーク上で、著作権のある音楽を違法に共有しているとして、532人のPCユーザーを著作権侵害により提訴しました。これは、多くの合法的なオンライン音楽サービス事業者が参加し、公正な市場の成長が期待される中、RIAAが著作権者の権利保護に向けて継続してきた取り組みの一環です。

今回の532人に対する訴訟は、被告の個人名が特定されていない場合に用いられる「John Doe」という仮の名称で提訴が行われ、被告はIPアドレスで特定されます。「John Doe」名での訴訟でも、原告(レコード会社各社)は、被告の氏名を確認するのに必要な情報を入手することが可能です。これは、米連邦控訴裁において、P2Pネットワークに関する著作権侵害訴訟については、デジタル・ミレニアム著作権法(DMCA)で認められている召喚状の対象にならないとの判決が下されたことによります。

RIAAのキャリアー・シャーマン氏は、「違法な音楽ファイル共有に対するキャンペーンは着々と進んでいます。今後も著作権のある音楽を配信するユーザーに対しては、提訴を継続していきます」と述べています。

また、RIAA会長兼CEOのミッチ・ベインウォール氏は「私たちが前進すれば、状況は劇的に改善します」とコメントしています。「問題はデータかモノか、新しいか古いかではなく、合法か非合法かということです。iTunes、新Napster、Wal-Mart、Amazon、Dell、Real、Microsoftやその他合法サービス対Kazaa、ImeshやGroksterなどの非合法サイトの戦いなのです。またデジタル音楽が、創造のプロセスを後押しするかたちで使用されるのか、それとも自身の将来を閉ざしてしまうのかを決める問題でもあるのです」

またシャーマン氏は、「合法オンライン音楽サービスと従来の小売店での音楽販売の両業界が共に発展できる

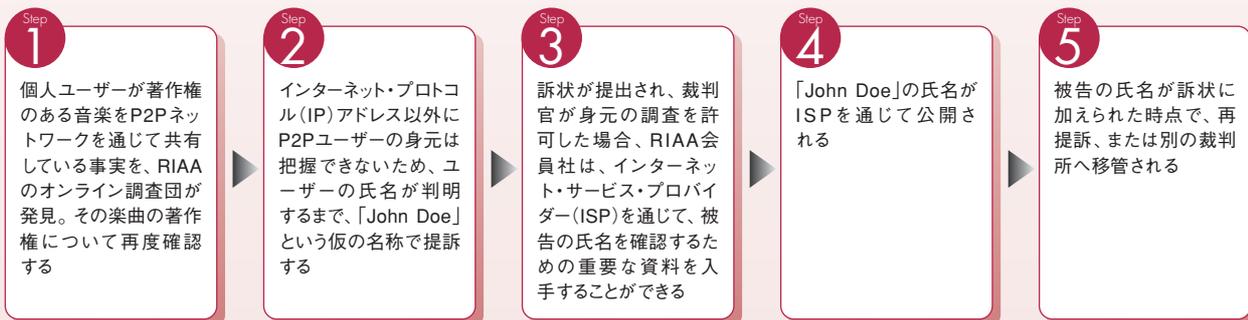
よう、こうした通知や活動を続けていくことが重要です」と説明しています。「私たちは、音楽業界における著作権侵害対策運動の成果を実感しています。アナリストによると、著作権に対する認識が高まり、合法的なダウンロードが増加しているのに対して、違法なファイル共有の件数は減少しています」

「Jon Doe」訴訟により、今後はRIAAが事前通告を行い、実際の訴訟に至る前に違法行為をやめさせる機会を与えることができなくなりました。しかし、シャーマン氏は、RIAAはさらに何歩も前進して、現段階で成功しているプログラムを発展させたいとしています。「John Doe」訴訟によって、違法にファイル共有していたユーザーの身元を特定し、氏名や住所を記入するなど訴状に修正を加え、訴訟を続ける前にRIAAから問題解決の機会を提供していきたいとしています。

シャーマン氏はさらにこう述べています。「私たちは違法なファイル共有を行うユーザーに対して、問題解決の機会を提供していきたいと考えています。私たちが何カ月にもわたって活動してきたことにより、著作権のある音楽ファイル共有することは違法だという認識は浸透しています。知らなかった、では済まされません。『John Doe』訴訟は、被害者がその権利を主張するための良いシステムだと思います。被告の身元を明らかにする方法は変わりましたが、私たちの執行プログラムは従来と変わることなく続けていきます」

(RIAAプレスリリース 04.01.21)

● 「John Doe」訴訟：原告が権利を主張するための効果的な手段



Monthly Production Report

2004年1月度レコード生産実績

1月度の音楽ソフト(オーディオレコード・音楽ビデオの合計)生産は、数量で前年同月比90%の2,329万枚、金額で前年同月比78%の272億円となりました。

● オーディオレコード

(数量:千枚・巻/金額:百万円)

			1月実績						2004年(1月~1月)累計					
			数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
シングル	8cmCD	邦	1,281	6	392%	161	1	73%	1,281	6	392%	161	1	73%
		洋	378	2	52294%	42	0	13214%	378	2	52294%	42	0	13214%
		計	1,659	8	506%	203	1	92%	1,659	8	506%	203	1	92%
	12cmCD	邦	4,718	22	136%	3,537	14	139%	4,718	22	136%	3,537	14	139%
		洋	42	0	71%	35	0	73%	42	0	71%	35	0	73%
		計	4,761	22	135%	3,572	15	138%	4,761	22	135%	3,572	15	138%
小計	邦	5,999	28	158%	3,698	15	134%	5,999	28	158%	3,698	15	134%	
	洋	420	2	693%	77	0	159%	420	2	693%	77	0	159%	
	計	6,419	30	166%	3,775	15	134%	6,419	30	166%	3,775	15	134%	
12cmCDアルバム	邦	8,140	38	64%	11,946	49	62%	8,140	38	64%	11,946	49	62%	
	洋	5,729	27	104%	7,902	32	101%	5,729	27	104%	7,902	32	101%	
	計	13,869	65	76%	19,848	81	73%	13,869	65	76%	19,848	81	73%	
CD合計	邦	14,140	67	86%	15,643	64	71%	14,140	67	86%	15,643	64	71%	
	洋	6,149	29	110%	7,979	33	101%	6,149	29	110%	7,979	33	101%	
	計	20,288	96	92%	23,622	97	79%	20,288	96	92%	23,622	97	79%	
アナログディスク	邦	16	0	70%	20	0	101%	16	0	70%	20	0	101%	
	洋	38	0	951%	52	0	1233%	38	0	951%	52	0	1233%	
	計	54	0	199%	73	0	299%	54	0	199%	73	0	299%	
カセットテープ	邦	820	4	86%	667	3	81%	820	4	86%	667	3	81%	
	洋	1	0	7%	1	0	9%	1	0	7%	1	0	9%	
	計	820	4	85%	667	3	81%	820	4	85%	667	3	81%	
その他	邦	8	0	102%	21	0	109%	8	0	102%	21	0	109%	
	洋	18	0	210%	40	0	199%	18	0	210%	40	0	199%	
	計	26	0	158%	61	0	155%	26	0	158%	61	0	155%	
合計	邦	14,984	71	86%	16,351	67	71%	14,984	71	86%	16,351	67	71%	
	洋	6,205	29	111%	8,072	33	102%	6,205	29	111%	8,072	33	102%	
	計	21,188	100	92%	24,423	100	79%	21,188	100	92%	24,423	100	79%	

● 音楽ビデオ

			1月実績						2004年(1月~1月)累計					
			数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
DVD			1,996	95	78%	2,565	93	69%	1,996	95	78%	2,565	93	69%
LD・その他			73	3	89%	120	4	74%	73	3	89%	120	4	74%
テープ			35	2	30%	86	3	26%	35	2	30%	86	3	26%
合計			2,104	100	76%	2,771	100	66%	2,104	100	76%	2,771	100	66%

● 音楽ソフト(オーディオ/音楽ビデオ合計)

			1月実績						2004年(1月~1月)累計					
			数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオ			21,188	91	92%	24,423	90	79%	21,188	91	92%	24,423	90	79%
音楽ビデオ			2,104	9	76%	2,771	10	66%	2,104	9	76%	2,771	10	66%
合計			23,293	100	90%	27,194	100	78%	23,293	100	90%	27,194	100	78%

● ビデオ(含音楽ビデオ)

			1月実績						2004年(1月~1月)累計					
			数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
DVD			7,756	93	147%	9,729	82	104%	7,756	93	147%	9,729	82	104%
LD・その他			90	1	76%	130	1	71%	90	1	76%	130	1	71%
テープ			474	6	79%	2,071	17	76%	474	6	79%	2,071	17	76%
合計			8,320	100	139%	11,930	100	97%	8,320	100	139%	11,930	100	97%

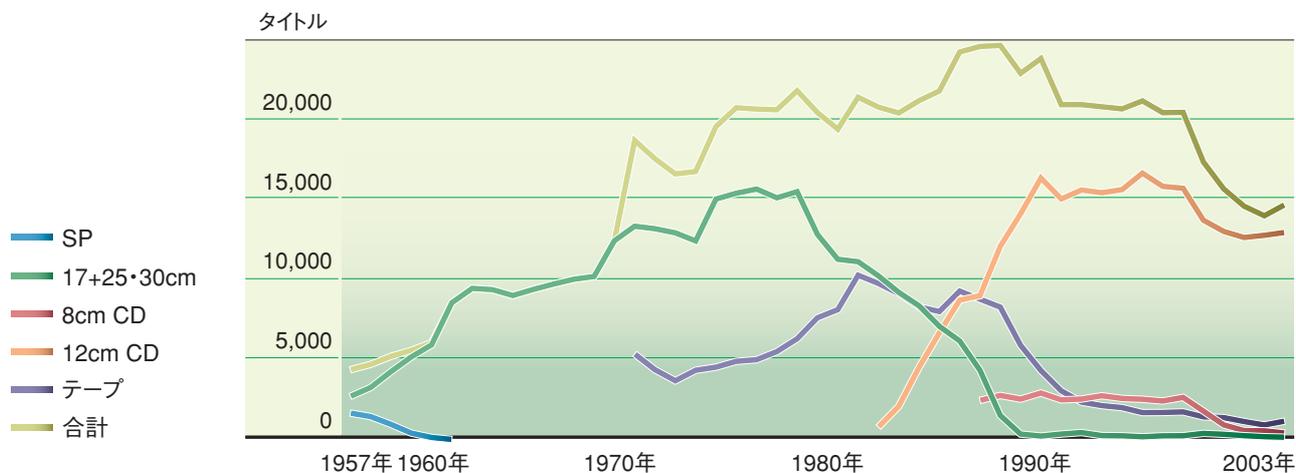
● オーディオ/ビデオ合計

			1月実績						2004年(1月~1月)累計					
			数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオ			21,188	72	92%	24,423	67	79%	21,188	72	92%	24,423	67	79%
ビデオ			8,320	28	139%	11,930	33	97%	8,320	28	139%	11,930	33	97%
合計			29,508	100	102%	36,354	100	84%	29,508	100	102%	36,354	100	84%

備考 1. 上記実績は、会員会社「33社」の集計。当会員会社が受託した非会員会社からの販売委託分を含む。
2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。
※オーディオレコードのその他はSACD、DVDオーディオ、DVDミュージック、MDの合計。

種別別オーディオレコード新譜数の推移

1年間に発売されるオーディオレコードの新譜タイトル数の推移を図と表により紹介します。



※テープ：カセット+カートリッジ+オープン・リール

単位：タイトル

	ディスク					テープ			合計
	S P	17cm	25・30cm	8cm CD	12cm CD	カセット	カートリッジ	オープン・リール	
1957 (昭32)	1,673	1,651	1,070						4,394
1958 (昭33)	1,451	1,789	1,493						4,733
1959 (昭34)	964	2,074	2,202						5,240
1960 (昭35)	414	2,433	2,769						5,616
1961 (昭36)	139	2,475	3,483						6,097
1962 (昭37)	15	3,425	5,187						8,627
1963 (昭38)		4,231	5,281						9,512
1964 (昭39)		5,053	4,379						9,432
1965 (昭40)		4,954	4,111						9,065
1966 (昭41)		5,414	4,030						9,444
1967 (昭42)		5,416	4,366						9,782
1968 (昭43)		5,382	4,704						10,086
1969 (昭44)		4,807	5,451						10,258
1970 (昭45)		5,159	7,346						12,505
1971 (昭46)		5,006	8,415			2,162	2,933	295	18,811
1972 (昭47)		4,378	8,884			1,834	2,353	211	17,660
1973 (昭48)		3,818	9,186			1,767	1,781	157	16,709
1974 (昭49)		3,286	9,210			2,437	1,821	106	16,860
1975 (昭50)		3,930	11,198			2,720	1,816	23	19,687
1976 (昭51)		4,042	11,452			3,614	1,746	15	20,869
1977 (昭52)		4,681	11,075			3,891	1,110	26	20,783
1978 (昭53)		4,021	11,185			4,607	915	15	20,743
1979 (昭54)		4,233	11,358			5,526	818	3	21,938
1980 (昭55)		4,049	8,851			6,393	1,270	1	20,564
1981 (昭56)		3,224	8,119			6,504	1,672		19,519
1982 (昭57)		3,224	7,965			7,674	2,667		21,530
1983 (昭58)		3,246	7,052		788	7,277	2,543		20,906
1984 (昭59)		2,761	6,503		2,097	7,047	2,133		20,541
1985 (昭60)		2,668	5,750		4,546	6,504	1,845		21,313
1986 (昭61)		2,535	4,593		6,719	6,768	1,310		21,925
1987 (昭62)		2,547	3,661		8,772	7,872	1,520		24,372
1988 (昭63)		2,066	2,299	2,468	9,053	7,671	1,164		24,721
1989 (平元)		993	528	2,780	12,155	7,691	642		24,789
1990 (平2)		155	198	2,549	14,203	5,655	276		23,036
1991 (平3)		0	229	2,933	16,451	4,188	160		23,961
1992 (平4)		4	350	2,502	15,135	3,049	24		21,064
1993 (平5)	MD	9	439	2,556	15,697	2,362		DCC	21,063
1994 (平6)	177	258		2,761	15,527	2,142		65	20,930
1995 (平7)	159	245		2,592	15,722	2,015		64	20,797
1996 (平8)	117	183		2,540	371	16,385	1,702	2	21,300
1997 (平9)	252	242		2,431	428	15,497	1,710		20,560
1998 (平10)	119	248		2,659	599	15,208	1,746		20,579
1999 (平11)	33	396		1,795	1,225	12,573	1,436		17,458
2000 (平12)	17	338		929	1,760	11,333	1,388		15,765
2001 (平13)	1	253		575	1,904	10,808	1,141		14,682
2002 (平14)		188		557	1,677	10,734	923		14,079
2003 (平15)		157		419	2,094	10,933	1,165		14,768

Gold Album +... 認定

2004年1月度

1月度ゴールドアルバム等認定では、倉木麻衣「Wish You The Best」、シングルで、福山雅治「虹／ひまわり／それがすべてさ」、森山直太朗「さくら(独唱)」がミリオンを達成しました。

邦楽

アルバム

● ミリオン

Wish You The Best	倉木麻衣	20040101	GZ
-------------------	------	----------	----

● トリプル・プラチナ

LOVE & HONESTY	BoA	20040115	AVT
----------------	-----	----------	-----

● ダブル・プラチナ

1st CONTACT	オレンジレンジ	20031217	SR
Delicious! ～The Best of Hitomi Shimatani～	島谷ひとみ	20031225	AVT

● プラチナ

GOOD MUSIC	KICK THE CAN CREW	20040101	WJ
GATE～scena III～	島谷ひとみ	20030806	AVT
ビギンの一五一会	BEGIN	20030724	TE

● ゴールド

止まっていた時計が今動き出した	ZARD	20040128	BG
DREAMANIA	DREAMS COME TRUE	20040109	TO
HANAWA ROCK	はなわ	20031001	TE
男気	氷川きよし	20031119	C
×3	松浦亜弥	20040101	EP

シングル

● ミリオン

虹／ひまわり／それがすべてさ	福山雅治	20030827	UM
さくら(独唱)	森山直太朗	20030305	UM

● プラチナ

また あした	Every Little Thing	20031112	AVT
桜	河口恭吾	20031210	WJ
ね、がんばるよ。	KinKi Kids	20040115	JE
スターゲイザー	スピッツ	20040121	UM
Jupiter	平原綾香	20031217	MU

● ゴールド

おんなの一生～汗の花～	川中美幸	20030508	TE
時の雫	GLAY	20040128	TO
きよしのドドンパ	氷川きよし	20040121	C
奇跡の香りダンス。	松浦亜弥	20040128	EP
愛あそば IT'S ALL RIGHT	モーニング娘。	20040121	EP
太陽／声	森山直太朗	20040110	UM

洋楽

アルバム

● プラチナ

クイーン・ジュエルズ	QUEEN	20040128	TO
------------	-------	----------	----

● ゴールド

PUNCH!	VA	20031224	BMG
--------	----	----------	-----



Wish You The Best/倉木麻衣



LOVE & HONESTY/BoA



1st CONTACT/オレンジレンジ



Delicious!～The Best of Hitomi Shimatani～/
島谷ひとみ



虹／ひまわり／それがすべてさ/
福山雅治



さくら(独唱)/森山直太朗

※AI:ソニー・ミュージックアソシエイテッドレコーズ/AVT:エイベックス/BG:ビーグラムレコーズ/BM:パーミリオンレコード/BMG:BMGファンハウス/C:コロムビアミュージックエンタテインメント/CL:クライマックスエンタテインメント/CR:日本クラウン/DF:デフスターレコーズ/EP:ゼティマ/ES:EPICレコードジャパン/FL:フォーライフミュージックエンタテインメント/GZ:ギザ/JA:ジェイ・ストーム/JE:ジャニーズ・エンタテインメント/JK:ユナイテッド・アジアエンターテインメント/K:キングレコード/KS:キューンレコード/MU:ドリーミュージック/PAR:プライエイド・レコーズ/PC:ポニーキャニオン/PK:ピッコロタウン/PY:プラティア・エンタテインメント/SE:エスエムイーレコーズ/SI:ソニー・ミュージックジャパンインターナショナル/SN:SENHA & CO./SR:ソニー・ミュージックレコーズ/TE:テイチクエンタテインメント/TF:トイズファクトリー/TJC:徳間ジャパンコミュニケーションズ/TO:東芝EMI/UM:ユニバーサルミュージック/V:ビクターエンタテインメント/WJ:ワーナーミュージック・ジャパン/XL:アンリミテッドグループ/YR:アール・アンド・シー・ジャパン

※ダブル・プラチナ(50万枚)以上の認定を受けた作品のジャケット写真を紹介します。

協会からのお知らせ

IFPI (国際レコード産業連盟) のウェブサイトでは、海賊版対策・著作権・技術など多岐にわたる情報が掲載されています。統計調査に関する発行物の中には、ウェブ上でご覧いただけるものもありますので、ぜひご利用ください。



<http://www.ifpi.org>

Respect Our Music

THE RECORD No.532 2004年3月号

社団法人 日本レコード協会 機関誌

発行人 依田 巽
編集人 田辺 攻
発行日 2004年3月10日
発行 社団法人 日本レコード協会
〒104-0061 東京都中央区銀座7-16-3 日鐵木挽ビル2F
TEL. 03-3541-4411 (代) FAX. 03-3541-4460 (代)
URL: <http://www.riaj.or.jp/>

制作協力 株式会社エフビーアイ・コミュニケーションズ

R100

古紙配合率100%再生紙を使用しています

編集後記

桜の開花予想が発表されました。満開はいつ頃か、雨や風で散ってしまうのではないかと、つい気になってしまいます。今年、皆様はどこにお花見に行きますか？

(R.O)